

がん検診の種類



- 40歳以上の男女
- 1年に1回

肺がん検診

胃がん検診

大腸がん検診

- 40歳以上の女性
- 2年に1回

乳がん検診

- 20歳以上の女性
- 2年に1回

子宮頸がん検診

肺がん検診

40歳以上の男女 1年に1回

高知県民のがんの中で一番死亡率が高い部位です。

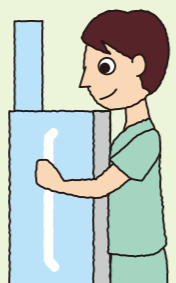
特に、男性は女性に比べると3~4倍肺がんになる人が多いです。40歳代から増加し始め、高齢になるほど肺がんになる人が多くなります。喫煙歴のある40歳以上の方は、特に注意が必要です。



●検査項目

胸部エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影し、異常がないかを調べる検査です。検査時間は数分で、痛み等もありません。



胃がん検診

40歳以上の男女 1年に1回

高知県で一番患者数が多いがんは、胃がんです。

死亡される方も肺がんに次いで多くなっています。

平成24年に高知県で胃がんが見つかった人

864人



●検査項目

胃部エックス線検査

市町村の検診では、検診車でバリウム(造影剤)と発泡剤(胃をふくらませる薬)を飲んで、エックス線撮影を行います。検査時間は数分です。



ずっと清むき
怖がらんと
受けてね!

大腸がん検診

40歳以上の男女 1年に1回

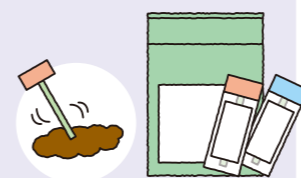
大腸がんは早期発見で100%近く完治できます!!

大腸がんにかかる患者さんは、40歳代から増加し始め、高齢になるほど多くなります。食生活の欧米化でかかる人は増加傾向です。大腸がんは早期に発見できれば、内視鏡的切除や手術などで、100%近く完治できる事が分かっています。

●検査項目

便潜血検査

採便容器をもらって自分で便をとって提出するだけのカンタンな検査です。2日分の便を調べ、大腸内の出血の有無を調べます。



乳がん検診

40歳以上の女性 2年に1回

高知県の女性に最も多いがんです。

近年乳がんにかかる人や、乳がんで亡くなる人が急速に増えています。若い年齢で発症するのが特徴で、30歳代から増え始め、40歳代で急増、40~50歳代が罹患のピークです。

●検査項目

マンモグラフィ

マンモグラフィ撮影では、乳房を左右片方ずつ、フィルム台とプラスチック板とではさみ、圧迫して撮影します。



定期的な乳がん検診の受診と併せて

毎月しっかり乳房チェック!

乳がんは、自分で早期に発見することもできます。

見てチェック!

乳房を鏡に写し、両腕を上げたり下げたり上半身を左右にひねったりして乳房全体を見ます。



触ってチェック!

起きた状態や仰向けで、しこりや腫れがないか手で触って調べます。



子宮頸がん検診

20歳以上の女性 2年に1回

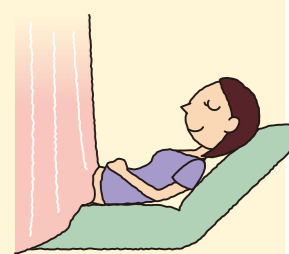
20歳から受診しましょう! 20歳代で見つかるケースが急増中!

子宮頸がんは、性交渉によるヒトパピローマウイルスへの感染が主な原因とされ、20歳代~30歳代で急増しています。

●検査項目

視診+内診+細胞診検査

医師による視診、内診(子宮の触診)、細胞診(専用のブラシでこすって細胞を採取)を行います。検査時間は数分で、痛みもほとんどありません。



子宮がんは、胎児を収める子宮体部にできる「子宮体がん」と、子宮の入口の部分にできる「子宮頸がん」にわかれます。子宮がん検診は通常「子宮頸がん検診」をさします。